

24番 岡元浩一 議員

1 市長の政策実現状況とコロナ禍における施策及び財政予測について

- (1) 市長は「即戦力」を公約として市長に就任し、「実現力」を2期目の目標とされた。市民に夢を与えることは政治家として当然のことであるが、残る1年の任期の中で、実現できること及び課題は何か。
また、その解決策を示されたい。
- (2) 収束しないコロナ禍において、市民の社会生活様式が様変わりしている。市民満足度向上のためには行政の指針が頼りとなる。鹿屋市を「どのような方向に導くのか」首長としての見解を示されたい。
- (3) 政府は国債を発行し、これを財源として、コロナ禍の問題に対策を講じている。国の借金は鹿屋市民生活にどのような影響を与えるのか不安である。来年度の予算編成に向けての課題と解決策を示されたい。

2 国立療養所星塚敬愛園の将来構想について

- (1) 鹿屋市は平成21年に「星塚敬愛園の将来を考える会」を設立し、その将来構想について検討を始め、10年が経過した。星塚町民は既に100名の入所数を切り「自分たちの生きた証」を残すことに力を注いでおられる。市長は星塚敬愛園の今後について、人権、敷地や建造物の保存、在職する職員の将来等をどのように考え、実現を図ろうとするのか見解を示されたい。